

令和5年度マンションアドバイザー派遣制度に係るアンケート調査

【アウトリーチ型】

1 調査目的

制度の今後の施策展開や普及啓発に活用するため、利用実態を把握することを目的とする。

2 調査対象

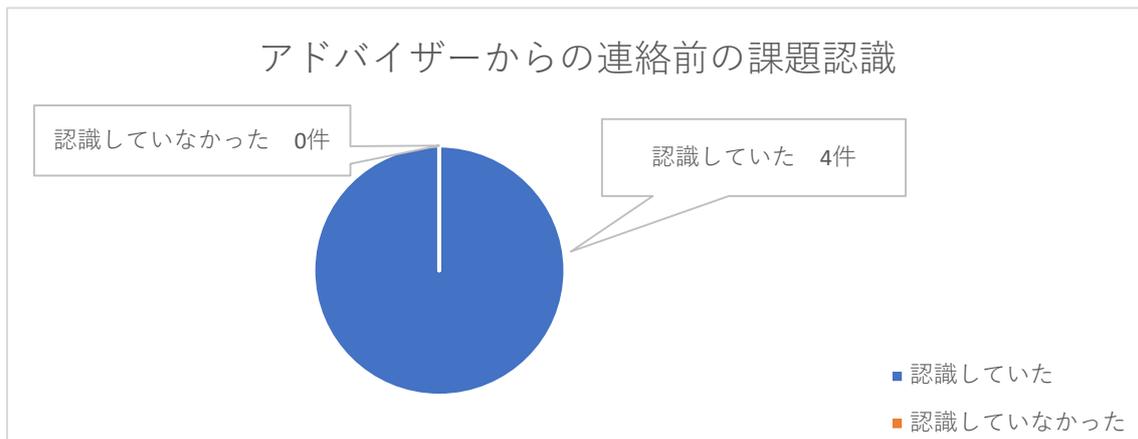
令和5年度に当該制度をアウトリーチ型にて利用した全8棟のマンション管理組合等

3 回収結果

回答数 4管理組合等（回答率 50%）

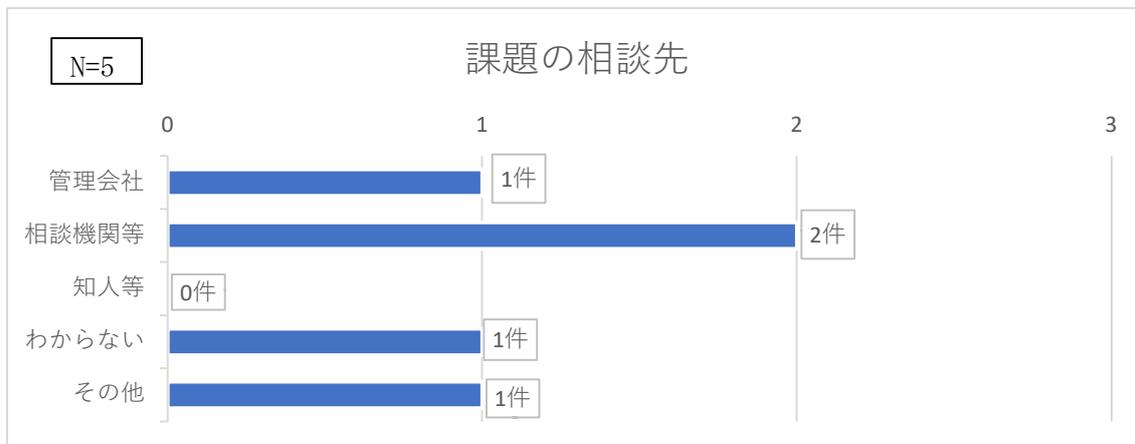
4 回答集計結果

問1 マンションアドバイザーから連絡がある前に、マンション管理に関する課題を認識していたか。



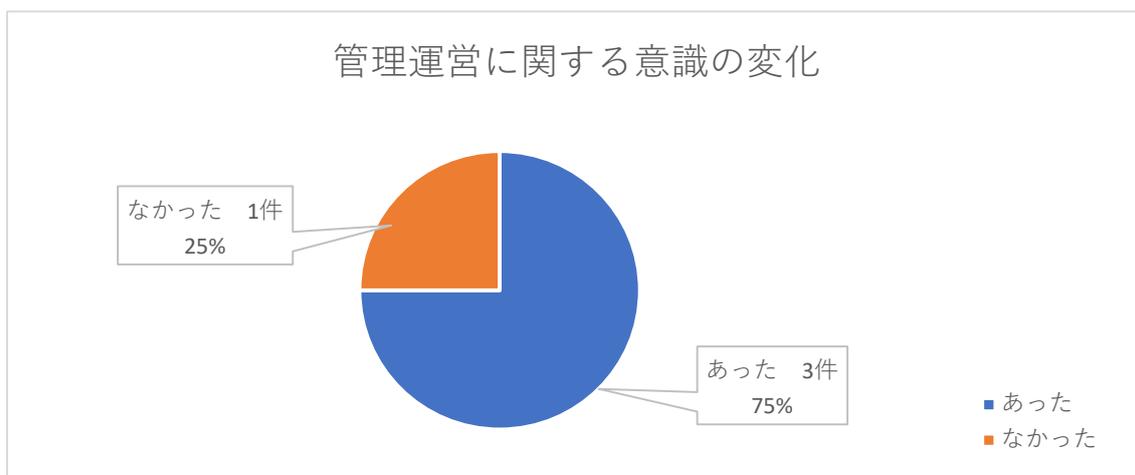
・すべての管理組合等が、課題は認識しているが、改善に踏み込めていない状況であった。

問2 その課題をどこかに相談する予定はあったか。(複数回答可)

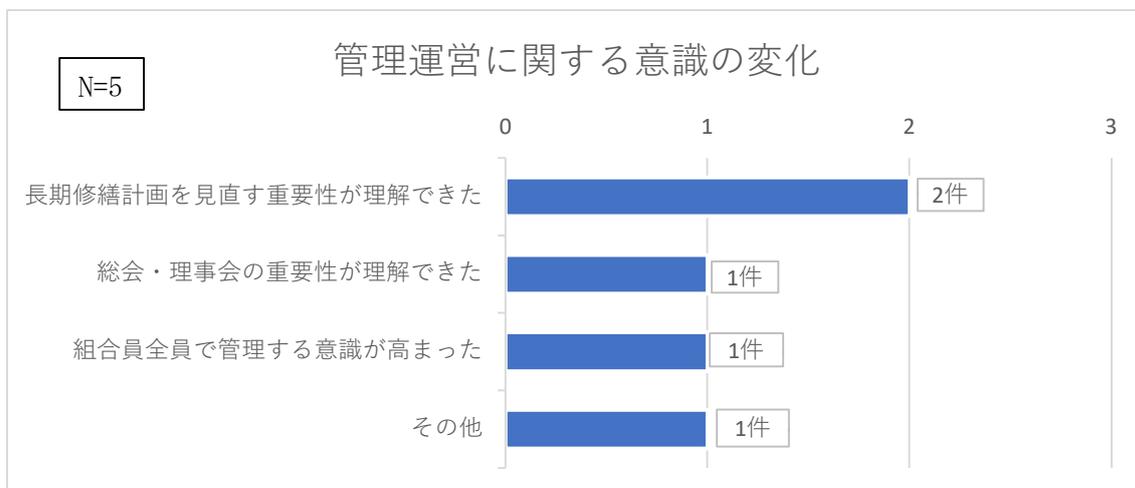


- ・その他は、相談機関等に相談しようとしていたが、平日日中に動くことが難しく、できていなかった、誰に相談すべきかの迷いがあった、など。

問3 マンションアドバイザーからのアドバイスを受けて、マンションの管理運営に関する意識の変化はあったか。

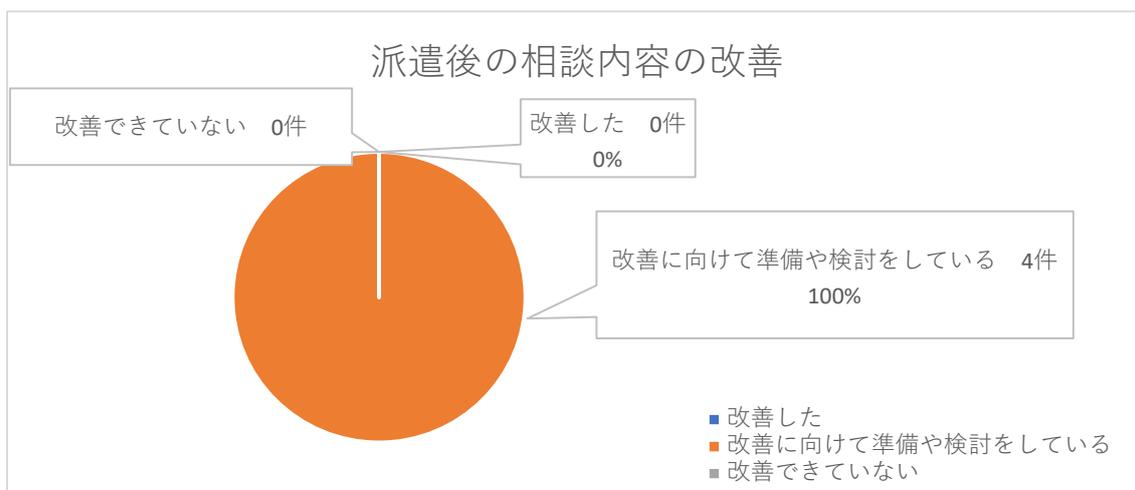


問4 (問3で変化があったと回答した方) どのような変化があったか。(複数回答可)



- ・その他の内容は、管理会社任せで崩れていた管理組合の在り方を考え直す機会となった、など。

問5 マンションアドバイザーの派遣後、相談した事項の改善は図ったか。



- ・すべての管理組合等が改善に向けた取組を始めており、マンションアドバイザー派遣の有効性がうかがえる。

問6 改善した内容(抜粋)

- ・経年50年のマンションの長期修繕計画の見直しを検討中。
- ・理事会、総会時に、明確な目的が持てるようになり、自信をもって発案できるようになった。管理組合員の理事会への見方も変化が見られる。長期修繕計画も準備中。アドバイスがなければ大きなアクションができなかった。
- ・一部の住民に現状認識をさせるのに役に立った。

問7 マンションアドバイザー派遣制度への意見（抜粋・文章整理）

- ・建替えか改修かの具体的な検討を開始する必要に迫られているマンションに、今回の無料派遣制度は、気軽に相談できる機会になった。
- ・理事会の役員の中でも、仕事をしながらで、相談したいにも相談先が無いという状況の中、困っている人は多いと思う。今後、築年数の古いマンションや、外部オーナーが多く、役員の負担が大きいマンションは増え続けると思う。